

令和4年3月25日
管理課業務担当

第32回芝浦食肉衛生検査所調査研究発表会を開催しました

3月11日（金曜日）、芝浦食肉衛生検査所では、衛生検査所衛生指導室において「第32回芝浦食肉衛生検査所調査研究発表会」を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、当所職員のみでのWeb開催といたしました。

当所では食肉の安全・安心の確保を図るため、日々の検査業務から得られる知見を基に、牛や豚の病気や食肉検査に関する様々な調査研究を行っており、毎年度末にその成果を発表しています。今年度は、「豚の扁桃における *Streptococcus suis* の保有状況調査」、「東洋医学の考えに基づく牛伝染性リンパ腫の分類（第二報）」、「芝浦と場に搬入された牛の牛伝染性リンパ腫ウイルス抗体保有状況調査及び血球数の比較」の3題の口頭発表と、線虫類の寄生状況調査やマニュアル作成、豚糞便中の *Escherichia albertii* 保有状況調査、試験法の妥当性評価等4題の誌上発表を行いました。残念ながら関係事業所等からの参加を控えさせていただいたため、直接御意見等を聞かせていただくことはできませんでしたが、助言者である健康安全研究センターの研究部門職員からは、事前に抄録を送付し御講評いただきました。「継続してデータを蓄積し、生産者等へ情報還元することが大切である。」「危機管理への対応は平時の備えが大切であり、今回の取組はとても意義がある。」等の講評がありました。

今後も、食肉の衛生検査を確実に実施するとともに、調査研究の結果を事業者や消費者に情報発信し、公衆衛生の向上に寄与したいと考えています。